NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞記事の「写真」を比較する

2．学校名

熊本県熊本市立飽田東小学校

3．実践者名（代表者名）

前田　康裕

4．学年

第4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　34人

6．単元（本時の学習課題）名

アップとルーズで伝える(著者の主張を)

7．目標（狙い）

対比・まとめなど、段落相互の関係に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、伝えたいことと伝える方法について興味をもつ。

8．評価の視点

・著者の主張を段落相互の関係に気をつけながら読み取ることができる。
・テレビの映像や新聞の記事といった具体物を用いて話し合うことで著者の主張を理解することができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

国語科「アップとルーズで伝える」(5時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

第1時:テレビの映像を視聴しながら、文章の内容を大きくつかむ。
第2時:映像と文章に注意しながら「アップとルーズで伝える」第1、2、3段落の関係をとらえる。
第3時:映像と文章に注意しながら同第4、5、6段落の関係をとらえる。
第4時:新聞で確かめながら同第7、8段落を読み、著者の主張をとらえる。(本時)
第5時:段落相互の関係を理解し、段落構成を図にまとめる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・写真にも一つ一つ意味があるということが分かりました。
・写真は正しく情報を伝えることができるし、まちがった情報を伝えることもできるんだなあと思いました。

12．成果と課題

同じ出来事なのに使われる写真が異なると違った情報が伝えられることを実感させることができた。その意味では、新聞記事を教材化することができたと言えよう。記事に用いられる写真を比較させることによって、「編集の仕方や記事の書き方」をより強く意識させることができるからである。しかし、方法論としてはまだ検討の余地がある。